

学校通信

2021年 9月17日
みやこ町立豊津中学校
校長 吉田 武志

生徒机といすの足にテニスボールを取り付けました。以前から机や椅子を動かした際に床との摩擦で結構大きな音が発生し、何か良い方法はないかと思案していたところ、2ヵ月ほど前ネットで偶然、日本プロテニス協会がスクールで使用したボールを教室の騒音対策用に寄贈するリユース(再利用)活動をしていることを知り、申し込んだところ、1800個送っていただきました。夏休み中、先生方でボールに十字の切り込みを入れ、始業式の日生徒で自分の机と椅子に取り付けました。騒音の解消だけでなく、座り心地もよくなったとの声も聞かれました。



第11回みやこ町中学生英語スピーチ大会に出場！

8月31日(火)にサングレートで予定していた今年度の大会は、緊急事態宣言を受け、感染防止のため各校でのビデオ録画による審査となりました。本校は2日(木)の放課後に体育館のステージで、教育委員会の立会いのもと録画を行いました。(写真) 夏休み中も登校し練習を重ねてきた7名の生徒たちは、その成果を発揮し、本番さながらに堂々とスピーチを行っていました。町内の他校との審査は月末に行われる予定です。みなさん、よくがんばりました！



まちづくり意見交換会に参加！

豊津支所跡に新たに整備するコミュニティ施設の設備やデザインについての意見交換会が5(日)に豊津公民館でありました。町から中学生の参加依頼があり、生徒会執行部の5名が参加してきました。当日は、地域住民や職場関係の方々に交じって、中学生の視点で建設計画案に対しての意見を交わしてきました。(写真) 参加した生徒からは、「自分たちの意見が町づくりに反映されると考えるとうれしくなった。感動した。」「ステージを広げるように提案した時、一緒にグループの方が肯定してくれてうれしかった。」などの感想が聞かれました。



ICT環境の充実！

町教委が重点施策の1つとして掲げているICT(情報通信技術)を活用した教育に向け、学校では授業で使う情報機器の整備が行われています。まずは一人1台のタブレットが配置され、先日学級で取り扱い方やオンライン授業のガイダンスを行いました。(写真1) さらに、次世代ミーティングボード マックスハブ(モニター65型のPC)が普通教室に配置されました。校内のWi-Fi環境も整い、これらの機器を使って多様で効果的な学習が期待できます。早速1日(水)の始業式では、マックスハブを使って校長室から各教室に講話中継を行いました。(写真2) また、教科授業でもマックスハブを使っている場面をよく見かけます。タブレットも今後、授業や家庭での学習支援に活用していきたいと考えます。



写真1



写真2

緊急事態宣言延長を受けて

緊急事態宣言の発令、若年層の割合増加、町内の感染者数の急増(8月51人)など、いつも以上に緊張感をもって新学期を迎えました。始業式では、自分や大切な人を守るために一層感染予防に努め、感染が判明した場合に良識と思いやりを持って対応することをお願いしました。生徒は、真剣な表情で聴いてくれました。また、緊急事態宣言の延長を受け、10月に予定していた行事の見直しを行いました。

- 体育大会(10月15日(金))は昨年と同様、プログラムを縮小します。3年の応援団演舞も感染防止対応での実施とします。
- 文化祭(10月22日(金))は合唱コンクールを行いません。生徒会提案による学級での取組み、英語スピーチ録画他をマックスハブを使って全教室をつなぎ交流します。生徒の健康と安全を守るための措置としてご理解ください。

授業や部活動については

- 授業の短縮は今週までです。来週(21(火))から通常授業に戻ります。
- 部活動は25日(土)から時間や人数を制限して再開します。各部の感染防止対応については顧問から事前にお知らせします。

まだまだ予断を許さない状況です。感染防止ご協力をお願いします。